

青少年防災キャンプ事例発表会

平成27年1月23日（金） 愛知県自治センター

趣 旨：防災キャンプの成果を普及するため、基調講演や事例発表を行う会を開催する。

参 加 者：75名（市町村行政関係者、学校関係者、防災団体等）

プログラム

13:00 開会（生涯学習課長あいさつ）

13:10～ 基調講演

『命の学習』としての『防災学習』～共に生き、自ら動く、子どもたちを！～

講師：名古屋大学減災連携研究センター・防災教育アドバイザー

独立行政法人国際協力機構(JICA)防災教育担当専門家 近藤ひろ子 氏

- ・ 防災教育を「命の教育」ととらえて、学校・家庭・地域が連携した地域ぐるみで動くことが重要。
- ・ 子どもたちが「自ら考え動く」ことができるよう、「学び」だけでなく、「心」、「トライ」の3つの視点で考えることが必要。
- ・ 自ら動ける人材の育成、みんなで一緒に防災に取り組む仕掛けづくりをしてほしい。



14:20～ シンポジウム 「防災キャンプは何をもたらしたか？」

○ 事例発表

東浦町防災キャンプ

東浦町防災キャンプ企画運営委員

東浦防災ネット 代表 川井 美秋 氏

安城市防災キャンプ ～地域と一緒に防災教育～

安城市教育委員会生涯学習課 課長補佐 鈴木 勉 氏

常滑中学校地域防災活動 ～「いざ」に備え、この街に笑顔と元気を！～

常滑市教育委員会学校教育課 主事 小出 直輝 氏

○ 意見交換 コーディネーター 近藤 ひろ子 氏

パネリスト 川井 美秋 氏（東浦防災ネット）

鈴木 勉 氏（安城市教育委員会生涯学習課）

小出 直輝 氏（常滑市教育委員会学校教育課）

久野 公義 氏（常滑中学校教諭）

「防災キャンプに至るまでの各市町、学校の取組」と「今回の防災キャンプを今後どのように生かしていくか」という2点を軸に、会場の質問や意見を交えながら意見交換を行いました。多様な機関の連携・協働の苦労や地域全体での取組の推進、子どもたちの自主性を重んじたプログラムの創出、支援をする側としての中学生の育成などについて、活発な意見が交わされました。

16:00 閉会（生涯学習課主幹あいさつ）

成果と課題

昨年度の防災キャンプ推進事業では「市町村行政における防災担当部局と教育委員会の連携の難しさ」が課題として明らかになりました。それを踏まえて、今年度は3市町が、各地域に必要な防災の基礎知識を学び、被災時に役立つ地域のつながりを強めるとともに、避難所運営におけるリーダーや支援者の育成を意識したプログラムを作成・実施することができました。また、まとめとしての事例発表会では、地域の多様な人々の連携、子どもの自主的な学びを導き出すプログラムの開発、地域社会を支える支援者としての中学生の育成などが必要であることが示され、今後の防災教育の在り方が示されました。

発 行 平成27年2月

愛知県教育委員会生涯学習課

〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6749

平成26年度文部科学省委託事業「体験活動推進プロジェクト」

愛知県青少年防災キャンプ推進事業 成果報告書

愛知県教育委員会では、宿泊を伴う避難所体験を組み込んだ防災教育プログラムをモデル事業として実施し、県民のみなさまの防災意識の醸成とともに、子どもたちの体験活動の機会の創出、学校・家庭・地域の連携による地域の絆の構築、家庭や地域の教育力の向上を目指してきました。

平成26年度は、常滑市、東浦町、安城市に防災キャンプを委託したところ、3市町とも、各地域に必要な防災の基礎知識を学び、被災時に役立つ地域のつながりを強めるとともに、避難所運営におけるリーダーや支援者の育成を意識したプログラムを作成し、実施しました。

1月には、その成果と課題を県内市町村の担当者や学校関係者、社会教育関係団体やボランティア団体の方と共有し、これからの防災教育のあり方を考える事例発表会を開催しました。



愛知県

愛知県教育委員会

東浦町防災キャンプ

平成 26 年 9 月 20 日（土）～21 日（日） 東浦町文化センター

趣 旨：東南海・南海地震への備え及び東海豪雨経験地域における災害の影響について学ぶとともに、日常の防災意識の向上を図るための学習プログラムを取り入れることにより災害に対する備えや知識を住民同士で共有し協働意識を養う。

参加者：20 日 71 人（児童 24 人、保護者 11 人、企画運営委員等従事者 36 人）
21 日 59 人（児童 24 人、保護者 12 人、企画運営委員等従事者 23 人）

9 月 6 日		事前研修会（講話・説明）
20 日	14:00	開会式・オリエンテーション 間仕切り設営・災害用トイレ組立
	15:10	家の中の安全対策
	17:00	炊き出し訓練・夕食
	19:00	非常持ち出し訓練
	20:15	地震に関する講話
	21:00	清潔保持訓練・就寝
	22:00	消灯
	21 日	6:30
8:30		町を散策して防災を知る
10:00		大学講師による講評
10:30		炊き出し訓練・昼食
13:00		まとめ・発表
14:00		閉会式、解散

非常持ち出し訓練。必要なものをリュックに入れたら立ち上がるだけで精一杯…



空き缶でご飯を炊きました。煙たかったけれど頑張りました。

参加者アンケートより：・また参加したい。・防災意識が高まった。・体験し対処法を知るだけでなく、大人が教わりそれを子どもたちに伝えることの重要性や近隣住民と共有することの必要性を感じた。

成 果：・多くの方が関わることによる日常の防災意識や災害時の協働意識の向上
今後の課題：・参加しやすい日程の調整 ・子どもが自主的に学ぶことのできるプログラムの考案

安城市防災キャンプ ～地域と一緒に防災教育～

平成 26 年 8 月 23 日（土）～24 日（日） 安城北部小学校・北部公民館

趣 旨：近い将来発生するであろう東海・東南海地震において、安城市では震度 6 強が予測されている中で、子どもたちが避難所生活を始めとする多彩なプログラムの防災キャンプを体験することにより、防災意識の向上を図る。また、地域の防災訓練に組み込むことにより、地域の絆づくりを推進させる。

参加者：北部小学校児童及びその保護者と地域住民 425 人（北部小学校児童 20 名・保護者 7 名・ボーイスカウト 21 名、地元中学生 26 名、地域住民 351 名）
*ボーイスカウトと中学生（中学生地域防災隊）は防災リーダーとしてボランティアで参加

7 月 12 日		防災教育講演会
23 日	13:00	避難訓練・夕食準備
	15:00	水難防止訓練
	17:00	講話（災害医療）
	18:00	夕食
	19:00	災害図上訓練・ロープワーク指導・夜間移動訓練
	21:30	避難所宿泊訓練
	24 日	6:00
8:00		地域全体のふりかえり
9:00		一般防災訓練（体験型講座）
11:00		防災訓練ふりかえり・解散



ハイゼックス袋に米を入れて夕食準備



消防団の方に教えていただいていた放水体験



ボーイスカウトの指導でロープワークの学習

参加者アンケートより：・いろいろな体験ができて勉強になった ・この経験を活かせるよう家庭でも対策を考えたい ・有意義な訓練なので今後も継続して欲しい

成 果：・参加者の防災意識の向上、防災に役立つ技法の習得 ・地域のボーイスカウトや中学生の防災隊が参加することによる地域の絆づくりの推進

今後の課題：・関係団体や地域住民との十分な連携や調整 ・子どもが自ら考え工夫できる余裕のある時間配分とプログラム編成（大人と同じプログラムは困難） ・参加者の健康管理

常滑市防災キャンプ ～「いざ」に備え、この街に笑顔と元気を！～

平成 26 年 8 月 6 日（水）～7 日（木） 常滑市立常滑中学校

趣 旨：大地震発生時に備えて、中学校を避難所とした防災キャンプを実施する。防災に関する講演会・話し合いを通じて、地域の絆の重要性を再確認し、体験活動から、地域の中で防災に関する知識・技能を持った人材を増やすことで、地域の連携・防災力の強化を目指す。

参加者：常滑中学校生徒・保護者・地域住民 250 人（宿泊は希望者のみ 30 人）

日 程		
6 日	12:30	避難訓練・避難所受付
	13:00	講演（東日本大震災の体験等）
	17:20	夕食づくり・夕食
	19:00	緊急搬送訓練
	19:40	避難所運営講習（HUG）
	20:30	避難所生活体験
	22:00	消灯

廃校での避難所運営活動
いちばん星南相馬プロジェクト理事長 星 巖 氏
震災時の障害者自立支援施設の運営
障害者自立支援施設所長 郡 信子 氏
大震災から未来へ
～生き抜く力を身につける～
相馬市立飯豊小学校校長 高橋 誠 氏
講演とリコーダー演奏会
プリズム・くぶれ 中山千草 氏・中山 薫 氏

7 日	6:00	起床
	6:30	朝食づくり・朝食
	9:30	防災倉庫等見学
	11:00	反省・アンケート
	11:30	解散

大釜での炊飯体験



毛布と棒を使って緊急搬送訓練



成 果：参加者の意識向上（震災の際には思いもよらない問題が数多く発生し、知識・技術だけでなく、被災者同士の助け合いが重要となる）

今後の課題：・参加した中学生の地域における絆や防災力の担い手としての成長 ・参加者の健康管理（熱中症対策）

その他の工夫：・地域と学校のつながりに留意して、清掃ボランティアや花火大会の募金募集など、防災キャンプ以外でも生徒と地域の方がつながる機会を設けるようにした。